

## 大町市議会議員定数等検討委員会（第10回）会議概要

- 1 開催日時 平成25年4月23日（火）午前10時00分から午前11時40分
- 2 開催場所 市議会第3委員会室
- 3 出席委員 八木 聡（委員長） 眞嶋 強志（副委員長）  
松島 吉子 太田 昭司  
高橋 正 荒澤 靖  
中牧 盛登 大日方三郎（公募委員）
- 4 会議事項
  - (1) 前回の会議概要確認
  - (2) 地方議会制度の改正経緯、議員報酬、政務活動費について
  - (3) 各会派等からの検討事項に対する回答について
  - (4) 先進地視察について
  - (5) 議員活動実態調査中間まとめについて
- 5 会議内容（決定事項等）
  - (1) 前回の会議概要の確認
    - ・前回の会議概要について確認した。
  - (2) 地方議会制度の改正経緯、議員報酬、政務活動費について
    - ・委員長から資料に沿って説明する。
    - ・配布資料を委員で読み合わせを行い、共通認識と理解を深めた。
    - (配布資料) ・「自治法改正と議会の役割」
  - (3) 各会派等からの検討事項に対する回答について
    - ・各会派等から回答の内容について補足説明する。
      - (政友クラブ)
        - ・会派内で意見がまとまらなくてもよいということだったため、そのまま提出した。様々な議論があるが、この委員会の決定に従う。常任委員会の数は減らすことを前提としている。
      - (民声クラブ)
        - ・議員定数、委員会数とも現状維持という意見である。この委員会が設置されたことや人口が減少していることは、必ずしも議員数を減らす理由にはならないという意見もあった。また、常任委員会数を2とすることは、議員の守備範囲が広くなり、結果的には市民益にかなわない。
      - (市民クラブ)
        - ・議員定数は16人、常任委員会数は2とする。

(虹と緑の会)

・会派の中で意見はまとまらなかった。必ずしも委員数を減らすことに反対しているわけではない。仮に議員数を減らすのであれば、市の課長級程度の報酬を確保し、専門職という位置づけをすべきとの意見があった。

(日本共産党)

・基本的には現状維持である。大町市は非常に市域が広いことを考慮すべきである。

(無会派)

・江藤先生の講演や他市の議員から話を聞く中でいろいろと考え悩んだ。仮に委員会数が2つなったとき、果たして十分な議論ができるのか心配である。現3常任委員会は適当であり、そのために必要な定数とした。今後、様々な権限が地方に移譲される中で、議員の仕事は確実に増えることが予想される。

(大日方公募委員)

・約20人からの市民意見等を集約したもので、私の意見とは違う部分もある。私個人としては、定数18人・委員会数2が適当であると考えている。これまで提示された資料の中では、3万人程度の人口規模の市では議員定数18～20人である。昨年の視察で定数を削減した市議会の話聞いたが、どちらも大変苦勞している印象を受けた。議員定数は、単に人口比で割り切れるものではない。都市部ではインフラが整い人口密度も高いため議員数は比較的少なくてもよいかもしれないが、大町市の現状では難しい。

・その他委員からの意見

- ・議員定数と報酬を一緒にして検討すると複雑になる恐れがある。できれば切り離して議論すべきではないか。
- ・仮に議員定数を減らすのであれば、政務活動費の増額を検討すべきではないか。
- ・議員の活動について、市民はよく分かっていない。また、分かろうとさえしない人もいる。
- ・議員は主に支持者からの声を市民の意見としてとらえるが、「市民」である公募委員にはどのような意見が寄せられているのか。  
→議員の実態をよく理解しないまま「必要ない」と言う人もいる。テレビなどで「海外の議員は日当制である」等々が取り上げられると安易に賛成する人もいる。日本との制度の違いなどを説明するが、やはり根底には「議員活動を知らない」ことが影響している。市民に対して、議員個人として、また会派でもきちんと活動していることをPRする必要がある。以前と比べて仕事量が増えていることやどのような成果があったのかをアピールすべきである。CATVでも議会中継をしているが、あらゆるメディアを活用して議員活動が見えるようにすべきである。

- ・今回のように会派等へ意見を何回か聞くうちに、最終的にはまとまってくるのではないかと。今回の意見は大変参考になった。
- ・この委員会の委員と他の議員との意識の差があるように感じる。
- ・他の議員は強く意見を言わず平静を装っているように見えるが、極めて強い関心を持っている。
- ・仮に議員定数の削減となれば、委員会数の減につながり、これまでの議員定数削減とは重みが違う。
- ・議員定数と委員会の数について、さらに各会派等で議論を深めてもらうこととした。

#### (4) 先進地視察について

- ・委員長から資料に沿って説明する。
- ・候補先議会の現状・評価等を確認したうえで、視察先は正副委員長で決定する。実施時期については、7月1日～2日または8日～9日の予定とし、視察先との調整等により決定することとした。

#### (5) 議員活動実態調査中間まとめについて

- ・1月分、2月分と昨年9月～2月分の調査集計結果を配布した。
- ・中間まとめとしてどのようなことが読み取れるかについては、正副委員長で次回委員会までに精査することとした。

(委員からの意見)

- ・3～4月は市内小中学校の卒業式・入学式に出席する機会が多かった。その際、祝辞を考える時間はどの分類へ記入すべきか悩んだ。議会を代表して出席するため「議会代表」に記入したがどうか。  
→議員として行事への参加依頼があった場合は「行事参加」へ記入すべきと考えるが、卒業式や入学式などは議会を代表して出席していることも理解できる。説明ができる場合には「議会代表」への記入でも構わない。

#### (6) その他

- ・次回の委員会については、5月28日(火)午前10時00分から開催予定とする。